

科目名 (科目番号)	韓国語 (083871)	教員名 小林寛	学科等	共通	選択	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		非常勤	火1	
授業概要	韓国語学習の初学者を主たる対象とし、初学者が、文字と発音を基礎から学び、日常のあいさつや基本的な会話ができるようにする。基礎的な韓国語の文法を理解して。韓国語の「聞く・話す・読む・書く」の能力の基礎を養成し、日常生活の会話に必要な言語運用能力を身につける。						
準備学習	語学の授業は学習内容が積重ねられて進む。習ったことをしっかり理解し、使えるように自分で練習する。自分の不足分を準備学習および事後学習で補うことが大切になる。授業でも、原則毎時間、「小テスト」あるいは「宿題」を課す。「小テスト」で合格点をとる準備をすること、「宿題」をこなして前回の復習・事後学修を行なって、次の授業に臨む準備をすることを、「準備学習」とする。						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	韓国語を学ぶ意義	到達目標: 韓国語の特徴を把握し、学習しやすい言語であることを体感することができる。 学習内容: 韓国語の特徴と韓国語が日本語母語話者が学習しやすいことを理解する。				
	2	文字の構造と母音を学ぶ	到達目標: 韓国語の文字「ハングル」の字母の組合わせを理解し、母音の発音ができる。 学習内容: 韓国語の文字「ハングル」の字母の組合わせ、及び母音の発音を理解し習得する。				
	3	文字の構造と子音字を学ぶ	到達目標: 字母の組合わせを確認し、子音の発音ができる。 学習内容: 字母の組合わせを確認しながら、子音の発音を理解し習得する。				
	4	初声・中声・終声を学ぶ	到達目標: 終声(パッチム)を理解して発音でき、また平音・激音・濃音の発音ができる。 学習内容: 終声(パッチム)の発音を学び、また平音・激音・濃音の区別を確実にする。				
	5	合成母音字を学ぶ	到達目標: 母音を組合わせてできる文字の構成を理解し発音ができる。 学習内容: 母音を組合わせてできる文字の構成を理解し発音を習得する。				
	6	「～は～です。」の文型を学ぶ	到達目標: 「体言＋格助詞」及び丁寧の文末語尾を用いることができる。 学習内容: 「体言＋格助詞」及び丁寧の文末語尾の表現を習う。				
	7	「あります。ありません。」の文型を学ぶ	到達目標: 「ある(있다)」及び「ない(없다)」の丁寧の文末語尾を用いることができる。 学習内容: 「ある(있다)」及び「ない(없다)」の丁寧の文末語尾を習う。				
	8	「これはなんですか？」の文型を学ぶ	到達目標: うちとけた丁寧の文末語尾を用いることができる。 学習内容: うちとけた丁寧の文末語尾の表現を学ぶ。				
	9	「1・2・3・4・・・」の数詞を学ぶ	到達目標: 漢字語の数詞および固有語の数詞、月・日・時間・曜日の表現ができる。 学習内容: 漢字語の数詞および固有語の数詞、月・日・時間・曜日の表現を学ぶ。				
	10	「～ではありません。」の文型を学ぶ	到達目標: 名詞の否定文の表現、近称中称遠称の表現、代名詞を含む表現ができる。 学習内容: 名詞の否定文の表現や近称中称遠称の表現および代名詞を含む表現を習う。				
	11	「どこ、いつ、だれ、なに」という問いの文を学ぶ	到達目標: 動詞・形容詞の丁寧の表現ができる。 学習内容: 動詞・形容詞の丁寧の表現の文型を練習する。				
	12	「好きです。嫌いです。」という形容詞の表現を中心とする文章表現を学ぶ	到達目標: 用言の変則活用を理解し連体形および否定文を用いることができる。 学習内容: 用言の変則活用と連体形および否定文を習う。				
	13	「行ってきました。」という、過去の表現を学ぶ	到達目標: 過去の表現を用いることができる。 学習内容: 過去形の語尾の使いわけを練習する。				
	14	「いらっしゃいましたか。」という、尊敬の表現を学ぶ	到達目標: 尊敬表現と尊敬の過去表現ができる。 学習内容: 尊敬語尾と尊敬語尾の過去形を練習する。				
	15	「することができます」という、可能表現を学ぶ	到達目標: 可能表現、不可能表現を用いることができる。 学習内容: 可能表現、不可能表現を練習し習得する。				
成績評価の方法・基準	授業ごとの課題・小テスト(40%)＋期末試験(60%)						
教科書	『最新チャレンジ！韓国語』		金順玉 他		白水社		
参考図書	朝鮮語辞典 (電子辞書でも良い)					小学館	
教員からのメッセージ	授業の進み具合、その他必要に応じて、授業内容を変更することもある。						